



ともに チャレンジ!  
～ 美しい「あ・や・が・わ」の創造 ～  
[あ]らたな文化 [や]すらぐ校風 [が]んばる心 [わ]の精神

綾川中学校  
学校便り No.25  
2022年11月11日

### 3年ぶりに実施した職場体験学習（2年生）



11月8日（火）～11月10日（木）の3日間、2年生が職場体験学習を行いました。コロナ禍の中、過去2年間実施できませんでしたでしたが、今年度は、保育施設、介護施設、医療施設を除いた50の事業所にそれぞれ訪問し、様々な職業体験ができました。

この職場体験学習が全国の中学校で行われるようになってから25年以上経ちますが、その重要性は一層高まっていると感じます。進路選択や就業を取り巻く環境が大きく変化し、目的や進路の意識が希薄なまま進学する者、進路・職業の選択を先送りにする者が増えています。このような背景から、早い時期に職場での社会体験を通して、「働く大人」と接し、働くことの厳しさや楽しさ、やりがいなどを学び、子どもたちの勤労観や職業観を育むことが求められているのです。

綾川中学校では、職場体験学習に次のようなねらいをもたせて実施しています。

#### 1 勤労観、職業観の育成の場

実際に仕事をしている人と接し、自分自身も体験することで、働くことの意義や目的の理解、進んで働こうとする意欲や態度などを育むこと。

#### 2 新たな自分を発見する場

子どもたちが自己の個性や適性についての理解を深めながら、様々な体験・経験を通して、自分が役立つ存在であることを実感したり、自己の新たな可能性を見付けたりすること。

#### 3 人間関係の大切さを体得する場

職場で働いている多くの職業人との触れ合いや交流を通して、異世代とのコミュニケーション能力を高めるとともに、社会人としての基本的マナーや言葉遣いなどを身に付けること。

#### 4 学校と社会をつなぐ場

学校での学習や生活が社会でなぜ大切なのか、どのように役立つのか、実際に仕事をしていく上でどのように用いられるのかを知ること。

#### 5 職業生活や社会生活に必要な知識、技術に関心を持つ場

職業で実際に用いられている知識、技術・技能に関心をもったり、実際に働いている人たちの生活ぶりを見聞きしたりする絶好の機会であること。

#### 6 地域への理解を促進する場

地域の産業やそこに働く人々の素晴らしさや大切さを発見する場合もあり、そのことが地元に対する愛着や誇りをもつことにつながる。

今後学校では、体験学習後の「報告書の作成」や「振り返り」を行います。体験して「楽しかった」「充実していた」「難しかった」「疲れた」などの感想に留まらず、この3日間で学んだことと学校生活（挨拶・返事、身なり、言葉遣い、行動力・実行力、責任感等）をリンクさせたり、一層学習に力を入れるようになったりするなど、それぞれの子どもたちの一歩成長した姿への変容を期待したいと思います。



肖像権保護のため写真はぼかしています。